弾痕処置

使用器具

評価ポイント ○

体内にできた弾痕を治療する術式。ライフル弾や散弾(ショットガン)を引き抜いたあとの弾痕も同様の処置で治療する。処置法は血溜まりを吸引し、人工膜を患部に乗せてヒールゼリーで定着させれば処置完了。エピソード「5-5」だけは、縫合処置で患部の治療が可能だ。

弾痕の大きさはまちまちだが、処置法は同じ。血溜まりの再発まえに人工膜を定着させよう。

[手順]

❶	ドレーン	血溜まりを吸引
❷	ピンセット	人工膜を乗せる
❸	ヒールゼリー	人工膜に塗る

評価ポイントに関わる要素

- ミスなく人工膜を患部に置く
- 血溜まりが再発するまえに人工膜を定着

ライフル弾摘出

使用器具

評価ポイント

体内に埋まったライフル弾を摘出する術式。まず血溜まりを吸引し、弾痕に表示されたガイドラインにメスを入れる。次に弾痕の血溜まりを吸引してライフル弾をピンセットで引き抜く。弾の摘出に成功したら回収トレイに弾を乗せて処置完了。弾の摘出は、傷に対してほぼ垂直(88～92度)で抜けば「Cool」、垂直に近い角度(85～87、93～95度)なら「Good」になり、角度が悪いと「Miss」でやり直しになるうえ、評価は必ず「Bad」になる。ちなみに、弾を下に落としても引き抜き処置がやり直しになる。

弾の引き抜きに失敗するとバイタルが低下。高評価は取れないうえ、手術失敗になりやすい。

[手順]

❶	ドレーン	血溜まりを吸引
❷	メス	弾痕を切り開く
❸	ドレーン	血溜まりを吸引
❹	ピンセット	ライフル弾を引き抜き、トレイへ運ぶ

評価ポイントに関わる要素

- 血溜まりが再発するまえに処置を終える
- 正しい角度でライフル弾を引き抜く
- 引き抜いたライフル弾をトレイまで運ぶ

散弾摘出

使用器具

評価ポイント

体内外に埋まった散弾銃の弾を摘出する術式。血溜まりを吸引し、出現した弾をピンセットで回収すればOK。ライフル弾とは違い、抜く角度は関係ない。弾が奥に埋まっている場合は傷口を切開し、血溜まりを吸引して弾の摘出を行なう。

それほど難しい術式ではないが、血溜まりの再発だけには注意。再発すると評価は下がる。

[手順]

❶	ドレーン	血溜まりを吸引
❷	メス	傷口を切り開く(弾が埋まっている場合のみ)
❸	ドレーン	血溜まりを吸引(弾が埋まっている場合のみ)
❹	ピンセット	弾を抜き、トレイへ運ぶ

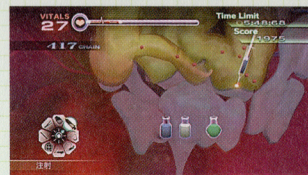
評価ポイントに関わる要素

- 血溜まりが再発するまえに処置を終える
- 弾を落とすことなくトレイへ運ぶ

炎　症

使用器具

評価ポイント

臓器に発生する小さな発疹を処置する術式。炎症発生時に注射を選択すると、回復薬の横に消炎剤(青色の液体)が出現する。注射でそれを吸引し、炎症部位に投与することで治療ができる。サイズは大、小の2タイプあり、サイズによって消炎剤を投与する量が異なる。ちなみに、目一杯まで吸引した場合、大なら2個まで、小なら4個まで治療が可能。

見た目は地味だが、その数が増えるとバイタルの低下が速くなる。数個まとめて処置していこう。

[手順]

❶	注射	患部に鎮静剤を投与する

内出血

使用器具

評価ポイント

臓器内の内出血(黒ずんだ血溜まり)を処置する術式。内出血は普段見えないため、スキャナで場所を特定し、メスで患部を切開する必要がある。切開後は溜まっていた血を吸引し、切開口を縫合すれば処置完了。切開口が小さいことで縫合を細かく行なう必要があるが、血溜まりの再発が速いので極力素早く行いたい。なお、内出血は時間経過とともに少しずつ大きくなり、さらに悪化すると患部が裂け、血溜まりが発生した裂傷に変化する。

スキャナを患部周辺に当てると、黒ずんだ血溜まりが確認できる。メスを刺して、血を外に出そう。

[手順]

❶	スキャナ	内出血の場所を特定する
❷	メス	患部を切開する
❸	ドレーン	血溜まりを吸引
❹	針と糸	切開口を縫う

評価ポイントに関わる要素

- 内出血の影を表示させずに切開する
- 血溜まりが再発するまえに切開口を縫う
- 縫合線の長さが規定以上あり、左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある

大裂傷

使用器具

評価ポイント

大きく裂けている傷口の処置を行なう術式。まず傷口にある血溜まりをすべて吸引し、傷口を露出させる。次にピンセットで傷口付近の皮膚をつまんで傷を閉じ、裂傷と同様に傷口をジグザグに縫合すれば術式完了だ。なお、傷口の血溜まりが再発したり、縫合が遅れて閉じた傷口が開いてしまうと、その後の縫合をうまく行なっても「Cool」評価は獲得できない。すべての処置を休むまもなく行なう必要がある。

ピンセットで傷の端をつかみ、内側へ動かして傷を閉じる。「OK」と表示されるまで離さないように。

[手順]

❶	ドレーン	血溜まりを吸引する
❷	ピンセット	傷口を閉じる
❸	針と糸	閉じた傷口を縫う

評価ポイントに関わる要素

- 血溜まりが再発するまえに手順を終える
- 傷をミスなく閉じ、傷が開かないうちに縫う
- 縫合線の長さが規定以上あり、左右幅が正確
- 縫合の折り返しの回数が規定以上ある